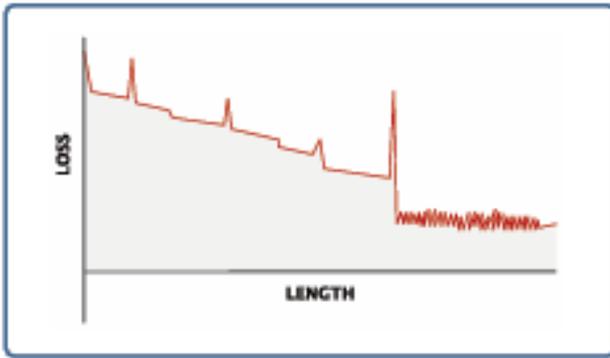




# OTDR600

## 光ファイバ用 OTDR 測定器



あらゆる種類のシングルモードファイバーに対応し、長さ、減衰量、減衰の均一性、および物理的不連続点の検出を高い直線性で測定するシステムです。

- 標準的な通信波長を使用したスペクトルモデリング。
- ユーザープログラム可能な自動高速測定を実現します。
- さまざまな測定オプションで構成でき、代替アプリケーションで使用できます。

### 機能・特長

#### ○リソッドステート

安定性、正確性、信頼性に優れ、所有コストを低く抑えます。

#### ○デュアル出力

1つの順序や一連の流れでの双方向テストが出来ます。

#### ○複数のレーザー光源

標準的な通信波長帯域(テレコムスペクトラム)をカバー

#### ○モードフィールド径

複数の波長 OTDR トレースを使用して、測定された波長での MFD 値を計算する事も出来ます。

#### ○ストレスモニタリング

ケーブルの機械的ストレス時の OTDR トレースの変化をモニタリングします。

#### ○マクロベンディング損失

曲げが繊維の減衰に及ぼす影響を測定します。

○距離機能強化: 業界で計画されている長いスプール長の測定を可能にします。

型番	OTDR600 or OTDR600C
レーザー波長(nm) <sup>※1</sup>	1260±10 ・ 1310±10 ・ 1383±1 ・ 1490±10 ・ 1550±10 ・ 1625±10
ダイナミックレンジ(dB) <sup>※2</sup>	40~46
直線性(dB/dB)	0.015~0.02
パルス幅(ns)	100, 200, 500, 1000, 2000, 5000, 10000
リターンロス(dB) <sup>※3</sup>	パルス幅x2
減衰パルス幅(%) <sup>※4</sup>	10
データ伝送距離範囲(km) <sup>※5</sup>	最大 120
測定長誤差(m) <sup>※6</sup>	± (0.75 + 0.001% × 距離 + サンプリング分解能 + GI の不確かさ)
データ測定値	最大 123,000
サンプリング分解能(m) <sup>※6</sup>	1
平均測定時間 <sup>※7</sup>	1秒~最大5分間
準拠規格	IEC-60793-1-40, ITU G650.1, GR-196-CORE, SR-4731

※1: 選択可能波長 (標準波長【1310nm および 1550nm】)

※2: 片方向の光 SNR (信号対雑音比) = 1。

※3: リターンロスが45dB以上の状態で、ピークがクリップされておらず、ピークより1.5dB低い地点での測定。

※4: リターンロスが55dB以上でピークがクリップされていない状態において、最短パルス幅時に後方散乱信号が通常レベルの±0.5dB以内に達すること。

※5: 基準の群屈折率 (グループインデックス) は 1.466。

※6: 群屈折率の不確かさが、測定全体の不確かさに最も大きな影響を与える。

※7: 平均化時間はユーザー選択可能。より長い平均時間をご希望の場合は営業担当にご相談ください。